市町村用

1. 地域包括ケアシステムの構築・推進

		活動目標	市町村の目指している地域包括ケアシステムの構築において、市町村が計画的にセンターを活用する	
	趄	遠旨・考え方	わがまちの地域包括ケアシステムの構築を推進するために、その中核拠点であるセンターの課題や強みを把握したうえで、計画り、活用しているかを評価する。	的にセンターの機能強化を図
			取組內容	時点
	А	市町村および	日常生活圏域の高齢者等に関する分析結果や地域課題等をもとに、センター数や設置形態等を協議し見直しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
1	В	市町村におけ	る介護保険事業全体の取組状況を踏まえ、センターが担う業務を協議しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	С	市町村の総合	評価結果や評価分野別評価結果をもとに、センター機能を強化するための取組の見直しを行っているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	D	【市町村によ センターの機	り選択】 能や実績を踏まえて、包括的支援体制における役割等を決めているか	評価実施年の4月末時点の 状況

2. 組織・運営体制

		活動目標	評価結果およびそれをもとにした運営協議会の議論やセンターとの協議を踏まえて、事業の実施方針や支援・指導方針を策定し保する	、それを実施できる予算を確
	趄	豆旨・考え方	評価結果をもとに、センターの現状や課題を把握したうえで、センターが最大限機能できるように運営協議会やセンターと協議 援・指導方針を策定し、実際にそれを実施できる予算を確保しているかを評価する。	を行い、事業の実施方針や支
			取組內容	時点
2	Α	(各)センターの総合評価結果や評価分野別評価結果をもとに、センター機能を強化するため、センターごとの運営方針や支援・指導方針を 協議しているか		前年度実績
	В	前年度の評価終	吉果に関する運営協議会での検討を踏まえて、センターの事業の実施方針や支援・指導方針を策定しているか	前年度実績
	С	センターが実別	西方針に則った事業運営ができるように、運営予算を毎年見直し、確保しているか	前年度実績
	D	年度ごとのセン	vターの事業計画の策定にあたり、センターと協議を行っているか 	前年度実績

		活動目標	実施方針に基づいてセンターが効果的に運営できるように、人員配置や人材育成に取り組む				
	赶	 国旨・考え方	実施方針に基づきセンターが効果的に運営するために必要な人材の状況を把握したうえで、必要に応じた人材確保、人員配置、を行なっているかを評価する。	人材育成および業務効率化等			
			取組内容	時点			
	А	センターの人材	対確保や定着を進めるための取組を行っているか	評価実施年の4月末時点の 状況			
3	В	評価結果やヒ	アリングなどからセンターのニーズを把握し、それをもとにセンター職員の資質向上のための研修を計画しているか	評価実施年の4月末時点の 状況			
	С	センターの業績	務効率化を目的に、センター業務にICT を導入しているか	評価実施年の4月末時点の 状況			
	D	_	り選択】⇒未実施のため選択しない 員確保の現状を踏まえ、複数圏域で合算した3職種の配置とするなど柔軟な職員配置に取り組んでいるか	評価実施年の4月末時点の 状況			
	活動目標 高齢者等が必要な時にセンターを利用できるように、センターの周知を行う						
	超	 国旨・考え方]ることができるよう周知を行				
			時点				
	А	市町村の広報網	紙とホームページなどでセンターを周知しているか	評価実施年の4月末時点の 状況			
4	В	介護サービス	青報公表システムでセンターを周知しているか	評価実施年の4月末時点の 状況			
	С	その他、対象に	こ応じた様々な方法でセンターを周知しているか	前年度実績			
	D	【市町村によ センターの認知	り選択】 印度を踏まえて効果的な周知を計画しているか	前年度実績			
			取組内容	時点			
5	地域る」	包括支援センタ の割合)を記載	】*中間アウトカム指標* 一の認知度(直近で実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」における地域包括支援センターの認知度の割合(「知ってい する。) 関する取組の結果を評価する。	アンケート調査より			

		活動目標	センターが個人情報保護等に留意しながら運営できるように体制支援を行う	
	趣	返旨・考え方	センターが個人情報保護等に留意しながら運営し、必要に応じて苦情やカスタマー・ハラスメント等に対応できる体制構築を支	援しているかを評価する。
			取組内容	時点
	А	個人情報保護(に関する市町村の取扱方針をセンターと共有しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
6	В	個人情報漏えい	いが起こった際の対応策をセンターと共有しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	О	苦情内容の記録	録等、苦情対応に関する市町村の方針をセンターと共有しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	О	利用者や家族だ	からのカスタマー・ハラスメントにセンターが対応できるよう支援しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
			取組内容	時点
			. 組織・運営体制」に関するアウトプット指標または 『を市町村が設定する	評価実施年の4月末時点の 状況

3. 総合相談支援事業

		活動目標	センターが総合相談支援事業を適切に実践できるよう、総合相談支援体制の構築に取り組む		
	±π	. 女之士	センターが総合相談、地域包括支援ネットワーク構築、実態把握等の総合相談支援事業を効果的に実施することができるように体制構築ができているかを評		
	趣旨・考え方 価する。				
			取組內容	時点	
	А	総合相談支援	事業に関するセンターの後万支援体制を構築しているか	評価実施年の4月末時点の 状況	
8	В	センターに対し	して、夜間・早朝または平日以外の窓口(連絡先)の設置を義務づけ、市町村やセンターのホームページ等で周知しているか	評価実施年の4月末時点の 状況	
	С	センターからの	の相談事例に関する支援要請に対応しているか	前年度実績	
	D	市町村レベルの	の関係団体(民生委員等)の会議に定期的に参加しているか	前年度実績	
	E	_	り選択】⇒未実施のため選択しない ごとの相談支援ニーズ等をセンターが効果的に受け止められるようブランチ等を戦略的に活用しているか	評価実施年の4月末時点の 状況	

		活動目標	センターにおける相談件数や相談内容を把握して、相談支援体制の改善を図る	
	趣	図旨・考え方	センターの総合相談支援の実績を踏まえて、より効果的な総合相談支援ができるように、体制を改善しているかを評価する。	
			取組内容	時点
	А	センターにおり	ける相談事例の分類方法を定め、相談件数や相談内容の特徴を把握しているか	前年度実績
9	В	センターが対応	らした家族介護者等からの相談について、相談件数や相談内容の特徴を把握しているか	前年度実績
	С	センターと協調	義しつつ、センターにおいて受けた相談事例の終結条件を定めているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	D	【市町村によりセンターにおり	リ選択】 ける相談件数や相談内容を分析して、その分析結果をもとに相談支援体制を改善しているか	前年度実績
			取組内容	時点
10	セング	ター指標の「3	. 総合相談支援事業」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定する	評価実施年の4月末時点の 状況

4. 権利擁護事業

		活動目標	センターが権利擁護事業を遂行するための体制構築に取り組む	
	Jerr			
	趄	25日・考え方	市町村の責務を踏まえ、センターが権利擁護事業を適切に実施できるようにするための体制を構築しているかを評価する。	
			取組内容	時点
	А	成年後見制度の	O市町村長申立てに関する判断基準をセンターと共有しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
11	В	高齢者虐待事例	列及び高齢者虐待が疑われる事例への対応の流れを整理し、センターと共有しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	С	センターまたに しているか	は市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討	前年度実績
	D	消費生活に関す	「る相談窓口及び警察に対して、センターとの連携についての協力依頼を行っているか	評価実施年の4月末時点の 状況
			取組內容	時点
12	セン:	ター指標の「4	. 権利擁護事業」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定する	評価実施年の4月末時点の 状況

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

		活動目標	センターが包括的・継続的ケアマネジメント支援事業を適切に行うための体制を支援する	
	趄	返旨・考え方	センターが介護支援専門員への個別ケアマネジメント支援と環境整備を適切に行えるように体制を支援できているかを評価する	0 0
			取組內容	時点
	А	日常生活圏域ご提供しているが	ごとの居宅介護支援事業所のデータ(事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等)を把握し、センターに情報 か	評価実施年の4月末時点の 状況
13	В	介護支援専門員 情報提供を行っ	員を対象に、包括的・継続的ケアマネジメントを行うための課題や支援などに関するアンケートや意見収集を行い、センターに っているか	前年度実績
	С		爰専門員の実践力向上を図ることなどを目的とした、地域ケア会議や事例検討等を行うことができるように、センター職員を対 会を開催しているか	前年度実績
	D		雙支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類し、経年的に件数を把握するとともに、そのニーズに応じた介護支援専門 た研修会等を計画しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	Е	介護支援専門員 村が設けている	員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者(例:医療機関や地域における様々な社会資源など)との意見交換の場を市町 るか	前年度実績
			取組內容	時点
14	セン:	ター指標の「5	. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定する	評価実施年の4月末時点の 状況

6. 地域ケア会議

		活動目標	地域ケア会議のすべての機能を発揮する地域ケア会議の体系を構築し、すべての機能を果たす	
			地域ケア会議の5つの機能(①個別課題解決機能、②ネットワーク構築機能、③地域課題発見機能、④地域づくり・資源開発機	能、⑤政策形成機能)すべて
	趣旨・考え方		が発揮されるようその体系を構築しているか、また、高齢者個人に対する支援の充実と地域包括ケアシステムの構築を同時に推	進するために、すべての機能
			が果たされているかを評価する。	
			取組內容	時点
	^	タレベルに (-	- つのレベルであっても多様な機能を果たす)地域ケア会議を設置し、それぞれが連動する体系をつくっているか	評価実施年の4月末時点の
		H-D-1707C (プログースルとのうともダ豚な仮形を木だり)地域プラム酸を改直し、これにれば 圧動りる枠がをラスラといるが	状況
15	В	┃地域課題や自立促進要因を把握・整理・仕分けする場を設けているか		評価実施年の4月末時点の
				状況
	С	 地域ケア会議。	と他の会議や事業とが連動する体系をつくっているか	評価実施年の4月末時点の
				状況
	D	地域ケア会議の	か5つの機能(①個別課題解決機能、②ネットワーク構築機能、③地域課題発見機能、④地域づくり・資源開発機能、⑤政策形	評価実施年の4月末時点の
		成機能)すべて	てが果たされているか	状況
	Е	地域ケア会議の	の運営を評価して体系を見直しているか	前年度実績

		活動目標	地域ケア会議の運営の仕組みを構築し、関係者に周知する			
	趄	亟旨・考え方	地域ケア会議を有効に活用するための運営の仕組みを構築し、センターや関係者と共有できているかを評価する。			
			取組內容	時点		
	А	地域ケア会議の	D体系や目的、機能、構成員、スケジュール等の開催計画をセンターや関係機関に示しているか	評価実施年の4月末時点の 状況		
16	В	地域ケア会議の	D運営に関してセンターとの役割分担と連携方法を関係者と共有しているか	評価実施年の4月末時点の 状況		
	С	センターと協力 しているか	りし、地域ケア会議における個人情報の取扱方針を定め、センターと共有するとともに、市町村が主催する地域ケア会議で対応	評価実施年の4月末時点の 状況		
	D	地域ケア会議の	D議事録や検討事項を構成員全員が共有するための仕組みを構築しているか	評価実施年の4月末時点の 状況		
		,				
	趄	趣旨・考え方 個別ケース検討による高齢者の自立支援に資するケアマネジメントの支援やネットワーク構築、そして把握した地域課題への対応等を行えるように、 ア会議を活用できているかを評価する。				
			取組內容	時点		
	Α	地域ケア会議り	こおいて、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか	前年度実績		
17	B 生活援助の訪問回数の多いケアプラン(生活援助中心のケアプラン)の検証を行い、対応策を講じているか		前年度実績			
	С	地域ケア会議で	で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築し、かつ、実行しているか	前年度実績		
	D	高齢者の自立を促進する要因や阻害要因を把握して、それをもとに、高齢者の自立に資する事業(総合事業や生活支援体制整備事業等)の見 直しを行っているか				
	Е	複数の個別事例	別から地域課題を明らかにし、市町村主催の地域ケア推進会議で検討することで、政策形成につなげているか	前年度実績		

		活動目標	地域ケア会議の運営において、センター等と協働する	
	趄	返旨・考え方	地域ケア会議の運営において、市町村がセンターと適切に協働し、かつその成果等を関係者や住民に公表しているかを評価する	0
		時点		
18	Α	センター主催の)個別事例について検討する地域ケア会議(地域ケア個別会議)に参加しているか	前年度実績
	В	B センター主催の地域課題について検討する地域ケア会議(地域ケア推進会議)に参加しているか		前年度実績
	С	センター主催の)地域ケア会議で検討された内容を把握しているか	前年度実績
	D	センター主催及	なび市町村主催も含めた地域ケア会議の検討内容をとりまとめて、住民向けに公表しているか	前年度実績
			取組內容	時点
19	セン:	ター指標の「6	. 地域ケア会議」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定する	評価実施年の4月末時点の 状況

7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

		活動目標	センターや介護支援専門員が介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施できるよう体制を構築する	
	趄	返旨・考え方	センターや介護支援専門員が介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施できるように、市町村として体制を構築し	ているかを評価する。
			取組內容	時点
	۸	介護予防ケアマ	マネジメント・介護予防支援に関する実態を踏まえ、自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関する市町村の基本方	評価実施年の4月末時点の
	Α	針を定め、セン	ノターと共有しているか	状況
	В	センター、介記	隻支援専門員、生活支援コーディネーター、協議体に対して、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の	評価実施年の4月末時点の
		社会資源に関す	する情報を提供しているか	状況
	С	利用老のわれ	フマネジメントを推進するため、介護予防手帳などの支援の手法を定め、センターと共有しているか	評価実施年の4月末時点の
		利用省のセル。	/ マネングンドで推進するため、月段子例子版などの文族の子広で走め、ピンダーと共有しているが	状況
20	D	介護予防ケアマ	マネジメント・介護予防支援におけるセンターの人員体制と実施件数を把握し、人員配置を見直しているか	前年度実績
	Е	介護予防ケアマ	マネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定について、公平性・中立性確保のための指針を作成し、センターと共有	評価実施年の4月末時点の
	С	しているか		状況
	F	介護予防ケアマ	マネジメント・介護予防支援を居宅介護支援事業所に指定または委託する際のセンターの関与について、市町村の指針をセン	評価実施年の4月末時点の
	Г	ターと共有して	ているか	状況
	G	【市町村により	J選択】	評価実施年の4月末時点の
	G	介護予防ケアマ	マネジメント・介護予防支援について、リハビリ専門職等、多職種からの専門的な助言を得られる体制を整備しているか	状況
	Н	【市町村により	J選択】	評価実施年の4月末時点の
	П	介護予防支援を	を担う居宅介護支援事業所から介護予防サービス計画に係る相談を随時受け付ける体制を整備しているか	状況

		活動目標	介護予防支援の実態を踏まえ、介護予防サービス計画の検証方法を定め運営する	
	趣	医旨・考え方	介護予防支援の実態を踏まえて、介護予防サービス計画の検証方法をセンターと協議して定め、それに基づき適切に運営してい	るかを評価する。
			取組内容	時点
	А	介護予防支援 <i>0</i>)実態を踏まえ、介護予防サービス計画の検証方法について、センターと協議して方針を打ち出しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
21	В	居宅介護支援事	『業所に対して、介護予防サービス計画の検証方法に関する方針を示しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	С	介護予防サーヒ	ぶス計画の検証を実施した結果について、センターや居宅介護支援事業所等と共有しているか	前年度実績
	D		ごス計画の検証を通じて、介護予防支援や介護予防サービス計画の作成に課題がないかを整理し、課題があった場合には、課題 R組を行っているか	前年度実績
	E	【市町村により 利用者の状態の	選択】 の維持・改善に向けた介護予防サービス計画でない場合、その適正化のために、地域ケア会議を活用しているか	前年度実績
		•	取組内容	時点
22	セン:	ター指標の「7.	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定する	評価実施年の4月末時点の 状況

8. 包括的支援事業(社会保障充実分)

		活動目標	包括的支援事業(社会保障充実分)を推進するために、センターの活動を位置づけ、その支援を行う	
	扭	気旨・考え方	包括的支援事業(社会保障充実分)のセンター委託の有無にかかわらず、それぞれの事業におけるセンターの役割を明確にし、	適切に事業推進するために支
	Z	EU -17/0/J	援できているかを評価する。	_
			取組內容	時点
	Α		隻連携推進事業における相談窓口とセンターとの連携・調整が図られるよう、連携のための会議等の開催といった情報共有の仕 ごの支援を行っているか	前年度実績
23	В		ディネーター・就労的活動支援コーディネーターや協議体とセンターの連携・調整が図られるよう、連携のための会議等の開催 共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか	前年度実績
	С		¬支援チーム、認知症地域支援推進員またはチームオレンジコーディネーターとセンターとの連携・調整が図られるよう、連携 等の開催といった情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか	前年度実績
	D	センターが行う	う包括的支援事業の充実のために、医療関係者とセンターの合同の事例検討会や講演会等の開催または開催支援を行っているか	前年度実績
			取組内容	時点
24	セン:	ター指標の		評価実施年の4月末時点の
	۲8.	包括的支援事	業(社会保障充実分)」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定する	状況

地域包括支援センター用

1. 地域包括ケアシステムの構築・推進

		活動目標	市町村全体を踏まえた担当圏域の現状および将来像やニーズを把握する	
	趄	返旨・考え方	センター業務を実施する前提となる地域アセスメントを行い、担当圏域の現状および将来像やニーズ等を把握しているかを評価する。	
			取組内容	時点
	А	人口動態、市町 状況等を把握 l	T村が行う介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査の結果等の量的データによって、地域の高齢者に係る現状や将来の いているか	評価実施年の4月末時点の 状況
1	В	介護保険事業記	十画、老人福祉計画、地域福祉計画等から、地域の高齢者に係る課題等を把握しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	С	センターが行う	5 実態調査によって、担当圏域の現状やニーズを把握しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	D	相談内容や地均	ずケア会議等の内容を分析し、担当圏域の地域課題を把握しているか	評価実施年の4月末時点の 状況

2. 組織・運営体制

		活動目標	市町村の実施方針に従って、地域包括支援センターの機能強化に向けた事業計画を作成し、必要に応じて業務改善を図る	
	趄	25日・考え方	市町村の実施方針や担当圏域の地域課題等を踏まえて、事業計画の作成、重点目標を設定し、必要に応じて業務改善を図っているかな	を評価する。
			取組内容	時点
	А	市町村が定め	るセンターの事業の実施方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
2	В	当該年度のセ	ンターの事業計画に、前年度の事業評価における課題への適切な対応策を含めているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	С	市町村の実施だ	方針や担当圏域の地域課題等を踏まえ、センターの事業計画に重点目標を設定しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	D	センターの事	業計画の重点目標に基づいて達成状況を分析し、必要な業務改善を行っているか	評価実施年の4月末時点の 状況

		活動目標	センターが効果的に運営できるように、組織マネジメントを行う			
	趙	医旨・考え方	センター機能を効果的に発揮できるように、センター長等を中心として、センターの業務量の最適化を図りながら、個々の職員の専門ローチができているかを評価	性を踏まえたチームアプ		
			取組内容	時点		
	А	センター長等の	の責任者の役割を文書で明確に示し、職員に周知しているか	評価実施年の4月末時点の 状況		
3	В	センターの事	業計画を共有する会議等の機会を設け、これに基づく職員個々の取組内容を確認しているか	前年度実績		
	С	センターの業	務量を把握したうえで、業務の最適化を図るための対応を行なっているか 	評価実施年の4月末時点の 状況		
	D	特定の職員に	業務が偏らず、チームアプローチを推進するために業務分担のルールや仕組みづくりを行なっているか	評価実施年の4月末時点の 状況		
	Е	【市町村によ センター業務	り選択】 CICT を活用するなど、センターの業務効率化に取り組んでいるか	評価実施年の4月末時点の 状況		
		活動目標	センター職員の人材確保および育成を図る			
	趄	趣旨・考え方 センター職員の人材確保、定着、育成のために、研修やメンタルヘルス対策を行う体制を整え、対応しているかを評価する。				
		1	取組内容	時点		
	А	センターの人	対確保や定着を進めるための取組を行っているか	評価実施年の4月末時点の 状況		
4	В	センターに在賃	磨する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場で研修を実施しているか	前年度実績		
	С	センターに在賃	籍する全ての職員が、計画的に職場での仕事を離れて研修(Off-JT)に参加できるようにしているか	前年度実績		
	D	センターに在	磨する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、メンタルヘルス対策を実施しているか	前年度実績		
	Е		り選択】⇒未実施のため選択しない ョンまたはコンサルテーションが受けられる体制を整えているか	前年度実績		

		活動目標	市町村が示している個人情報の取扱方針や苦情対応方針に従い、センターにおいて適切に対応する体制を整え実践する	
	趄	函旨・考え方	市町村が示している個人情報の取扱方針や苦情対応方針に従い、個人情報の取り扱いに留意する体制を整備するとともに、必要に応スメント等に対応できる体制を構築して、実践できているかを評価する。	じて苦情やカスタマー・ハラ
			取組内容	時点
	А	個人情報保護	に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
5	В	個人情報の持	出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	С	市町村の方針	に沿って、個人情報漏えいとセンターが受けた苦情に対し、対処および市町村への報告(共有)の体制を構築しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	D	センターへの	苦情内容をもとに業務を改善しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	Е	【市町村によ センターに対	り選択】 する利用者や家族からのカスタマー・ハラスメントに適切に対応する体制をセンターとして整備しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
		•	取組内容	時点
6	セン	ター職員の定着	R】*中間アウトカム指標* 『李 (評価実施年の4月末時点の職員数-前年度内に離職した職員数)÷(評価実施年の4月末時点の職員数)×100 。取組の結果を評価する。	評価実施年の4月末時点の 状況

3. 総合相談支援事業

		活動目標	地域包括支援ネットワークを構築する	
	趄	返旨・考え方	すべてのセンター業務の基盤であり、ニーズ発見や支援機能等を果たす地域包括支援ネットワークを構築できているかを評価する。	
			取組內容	時点
	А	地域における	関係機関・関係者のネットワークについて、構成員、連絡先、特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
7	В	気になる高齢者	当等に関して、関係機関、民生委員、地域住民から連絡が寄せられるネットワーク体制を構築しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	С	相談経路を分析	所して、高齢者等への支援に必要な新たな支援機関等と連携しているか	評価実施年の4月末時点の 状況
	D	【市町村により 高齢者福祉分野	り選択】 野以外の関係機関・関係者と意見交換する機会を設けるなど、分野を横断した新たなネットワークを構築しているか	評価実施年の4月末時点の 状況

			ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー			
	+11		市町村と相談事例を共有・分析し、支援に活かす			
	趙	室旨・考え方	総合相談の実績を市町村と共有し、市町村と協働しながら総合相談を実践できているかを評価する。			
		7	取組内容	時点		
8	Α	相談事例の分類	質方法に沿って、1年間の相談件数等を市町村に報告しているか	前年度実績		
	В	相談事例の終稿	結条件を、市町村と共有しているか	評価実施年の4月末時点の 状況		
	С	相談事例の解え	夬のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から後方支援を得ているか	評価実施年の4月末時点の 状況		
	D	相談内容を分析	折して、対応ルールの作成や研修の開催等を行い、職員の実践力の向上に活かしているか	前年度実績		
		活動目標	家族介護者支援に取り組む			
	趄	図旨・考え方	家族介護者が相談しやすい環境を整備し、早期に課題を発見し、必要な支援につなげることができているかを評価する。			
				時点		
	А	夜間・早朝の	窓口または平日以外の窓口(連絡先)を設置して住民に周知し、家族介護者等が相談しやすい環境を整えているか	評価実施年の4月末時点の 状況		
9	В	支援が必要な質	家族介護者を早期に発見するための取組を行っているか。	評価実施年の4月末時点の 状況		
	С	家族介護者に対	対するアセスメントを行い、状態やニーズに応じて適切な社会資源に関する情報を提供しているか	前年度実績		
	D	家族介護者か	らの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか	前年度実績		
	Ε	【市町村によ家族介護者に対	り選択】 対する予防的な取組を行なっているか	前年度実績		

		活動目標	複合的な課題を持つ世帯の相談に適切に対応する		
	趣	遠旨・考え方	ニーズ把握や相談内容の整理等を行った後、記録に残すのみではなく、複合的な課題を持つ世帯の特徴を把握し、相談体制の強化や整いるかを評価する。	修備につなげることができて	
			取組内容	時点	
	А	相談者とともに	こ複合的課題を整理してニーズを明確にしているか	前年度実績	
10	В	ニーズに応じて	て適切な社会資源につなげ、必要に応じてつなげた社会資源と協働しているか	前年度実績	
	С	相談内容を整理	里して、複合的な課題を持つ世帯数・人数・内容等の実態を把握しているか	前年度実績	
	D	相談内容を分析	所して、複合的な課題を持つ世帯の相談対応の改善に活かしているか	前年度実績	
			取組内容	時点	
11	高齢	【市町村により選択】*アウトプット指標* 高齢者福祉分野以外の機関からの照会件数(前年度に総合相談として対応した件数を記載する。) ※地域包括支援ネットワークの構築状況を評価する。			
12	1年		】*アウトプット指標* 前年度にセンターで対応した相談件数について記載する。) 況を評価する。	前年度実績	
13	支援 ² るケ・	【市町村により選択】*アウトプット指標* 支援を拒否する高齢者等へのアウトリーチのケース数(前年度に、支援を拒否したり、会うことができないような高齢者等にアウトリーチをしたことのあるケース数を記載する。) ※総合相談の対応状況を評価する。			

4. 権利擁護事業

		活動目標	高齢者等の権利擁護のための普及啓発や対応を行う		
	趄	駆旨・考え方	高齢者による成年後見制度の適切な活用支援、消費者被害の予防・対応、高齢者虐待の予防・対応等といった権利擁護ができているだ	かを評価する。	
			取組内容	時点	
	А	市町村から共	有されている成年後見制度の市町村長申立てに関する判断基準を確認しているか	評価実施年の4月末時点の 状況	
	В	消費者被害に	関する情報を、民生委員、介護支援専門員、ホームヘルパー等へ提供しているか	前年度実績	
14	С	消費者被害に	関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、適切に対応しているか	前年度実績	
	D	高齢者虐待事	例および高齢者虐待が疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか	評価実施年の4月末時点の 状況	
	Е	センターまた か	は市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論、報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討している	前年度実績	
	F	【市町村によセンターに在!	り選択】 籍するすべての職員が高齢者等の権利擁護に関する研修を受講しているか	前年度実績	
		•	取組内容	時点	
	権利	擁護に関する相	引 *アウトプット指標 * 談件数(前年度にセンターで対応した相談件数のうち権利擁護に関する相談件数を記載する。) 総合相談の対応状況を評価する。	前年度実績	
16	【【市町村により選択】*アウトプット指標* 成年後見制度の申立て支援件数(前年度の市町村長申立て支援と本人・親族による申立て支援全てのケース数を記載する。) ※成年後見制度の申立てへの支援状況を評価する。		前年度実績		

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

		活動目標	担当圏域の居宅介護支援事業所の状況を把握し、地域のケアマネジャーの支援ニーズに基づいた対応を行う						
	趄	駆旨・考え方	介護支援専門員への個別ケアマネジメント支援と環境整備を適切に行うことができているかを評価する。						
			取組内容	時点					
	А	担当圏域におり	ける居宅介護支援事業所のデータ(事業所ごとの主任介護支援専門員、介護支援専門員の人数等)を把握しているか	評価実施年の4月末時点の 状況					
17	В	介護支援専門員	員から受けた相談事例の内容を整理・分類・件数を把握した上で、研修会、事例検討会、地域ケア会議等を開催しているか	前年度実績					
	С	担当圏域の介記 設けているか	隻支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者(例:医療機関や地域における様々な社会資源など)との意見交換の場を	前年度実績					
	D	介護支援専門。 ているか	員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催し	前年度実績					
	Е	介護支援専門	員を対象にした研修会や事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか	評価実施年の4月末時点の 状況					
		活動目標市町村の方針に則り、介護予防サービス計画の検証を行う							
	趄	 国旨・考え方	指定介護予防支援事業者の指定を受けた圏域内の居宅介護支援事業所が作成する介護予防サービス計画について、センターと協議して 沿って、適切に検証を行っているかを評価する。	て市町村が定めた検証方法に					
			取組內容	時点					
18	А	市町村の方針(こ沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成する新規の介護予防サービス計画を確認しているか	前年度実績					
	В	市町村の方針の	こ沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成する更新の介護予防サービス計画を確認しているか	前年度実績					
	С	市町村の方針(こ沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成した介護予防サービス計画を抽出し、その検証をしているか	前年度実績					
	D	【市町村によ 市町村の方針(リ選択】 こ沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成した介護予防サービス計画を抽出し、地域ケア会議でその検証をしているか	前年度実績					
			取組內容	時点					
19	介護	支援専門員から	】*アウトプット指標* の相談受付件数(前年度の介護支援専門員からの相談件数を記載する。) アマネジメント支援事業の実施状況を評価する。	前年度実績					

6. 地域ケア会議

		活動目標	センター主催の個別ケースを検討する地域ケア会議において、多様な視点から個別事例の検討を行い、対応策を講じる				
	趄	返旨・考え方	 個別ケース検討による高齢者の自立支援に資するケアマネジメントの支援やネットワーク構築を行えるように、地域ケア会議を活用 ⁻ 	できているかを評価する。			
			取組内容	時点			
	А	センター主催の)地域ケア会議の運営方針を、センター職員、会議参加者、地域の関係機関に対して周知しているか	評価実施年の4月末時点の 状況			
20	В	センター主催 ^の るか)地域ケア会議において、多職種等と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じてい	評価実施年の4月末時点の 状況			
	С	市町村が共有し	た地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で適切に対応しているか	評価実施年の4月末時点の 状況			
	D	地域ケア会議で	で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築・実行しているか	評価実施年の4月末時点の 状況			
	Е	センター主催の)地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか	前年度実績			
		活動目標 地域ケア会議において、地域課題を把握し、適切に対応する					
	趣旨・考え方 地域ケア会議で把握した地域課題に対して、適切に対応することができているかを評価する。						
			取組內容	時点			
	Α	センター主催の)地域ケア会議(地域ケア個別会議)において、地域課題の可能性がある課題を抽出しているか	前年度実績			
21	В	センター主催の	D地域ケア会議(地域ケア推進会議)において、地域課題や自立促進要因について共有し、その後の対応を検討しているか	前年度実績			
	С	センター主催の)地域ケア会議(地域ケア推進会議)において把握した地域課題や対応等を、市町村に報告しているか	前年度実績			
	D	地域課題の整理	里・分析・対応等を行なうために、市町村レベルの地域ケア会議(地域ケア推進会議)等に参加または資料提出しているか	前年度実績			
		-	取組內容	時点			
	セン: 地域:	ター主催の地域 課題について、	】*アウトプット指標*ケア会議に地域課題を報告した数(前年度に、センター主催の地域ケア会議を活用して把握した市町村レベルの地域ケア会議に報告した数を記載する。) 用状況を評価する。	前年度実績			

7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

	活動目標		介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施する			
	趄	亟旨・考え方	市町村の方針に基づき、センター職員や介護支援専門員が介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施しているかを評価す	ける。		
23			時点			
	А	自立支援・重力	度化防止等に資するケアマネジメントに関して、市町村から示された基本方針を、センター職員及び介護支援専門員に周知しているか	評価実施年の4月末時点の 状況		
	В	B 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置 づけているか		評価実施年の4月末時点の 状況		
	С	利用者のセル	フマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか	評価実施年の4月末時点の 状況		
	D	介護予防ケア	マネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録および進行管理を行っているか	評価実施年の4月末時点の 状況		
	Е	市町村から示	された介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針を遵守しているか	評価実施年の4月末時点の 状況		
	F	【市町村によ 介護予防ケア	り選択】 マネジメントの成果を把握するために、要支援者または事業対象者の日常生活の自立度の変化について、定期的な評価を行っているか	前年度実績		
		取組内容				
	介護	予防ケアマネシ	R】*中間アウトカム指標* ジメント対象者のうち状態が維持または改善した人の割合 ジメントの結果を評価する。	前年度実績		

8. 包括的支援事業(社会保障充実分)

	活動目標		事業間連携を推進する		
25	趄	函旨・考え方	包括的支援事業(社会保障充実分)の委託の有無にかかわらず、それぞれの事業におけるセンターの役割に対して、適切に事業推進すかを評価する。	ることができているかどう	
			時点		
	А	A 在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対して、相談を行っているか			
	В	前年度実績			
	С	認知症初期集	中支援チーム、認知症地域支援推進員またはチームオレンジコーディネーターと、支援対象者に関する情報共有を図っているか	前年度実績	
	D	包括的支援事	業の充実のために、医療関係者と合同の事例検討会や勉強会に参加しているか	前年度実績	
	Е	【市町村によ 生活支援コー・	り選択】 ディネーター・就労的活動支援コーディネーターや協議体と協働して地域活動を促進しているか	前年度実績	
		-	取組内容	時点	
	医療	関係者と合同 σ	R】*アウトプット指標* 事例検討会や勉強会の実施数 連携状況を評価する。	前年度実績	